

最終号 中部自治会防災ニュース

平成23年度 第9号(2月)

東日本大震災後の昨年5月から8回にわたり、中部自治会防災ニュースをお届けしてきましたが、最終回の第9号は今までのエッセンスをまとめてみました。

第1号では、減災のすすめとして、備蓄の重要性を学びました。

第2号では、地震発生からの行動の基本を学びました。

青葉区ガイドマップは震災時のバイブルじゃ。わが家では2部もらって居間に裏表にして貼ってある。そんなことよりポイントは、「家に留まれる場合」「家に居れない場合」、また「自助」「共助」「公助」という区分があり、それぞれに行動の基本があるということを知ったはずじゃ。常に見返してほしい。

第3号では、横浜市が出している被害想定について勉強しました。

何？右表はニュースには載って無かった？・・・お主、出来るなっ！

第4号は、いつ避難場所についてわしく確認しましたね。

1年間かけてみんなで決めた場所じゃな。まず最低限全員が自分のいつ避難場所と地域防災拠点、広域避難場所は知っていて、実際行ってみることが必要じゃ。そのうえで、震災時など緊急時にはご近所どうし助け合うことが絶対必要じゃ。これは地域の「絆」づくりのためにも不可欠な事じゃ。

今すぐできる アクション3 食料・飲料水とトイレパック備蓄のススメ

地震発生

地震時3原則

1. その場にあった身の安全を守る。
2. すぐやく火の始末。
3. とりなり近所の助け合い。

災害発生時にはあわてずに行動してください。

自宅にとどまる

自宅建物が火災の危険がないと見て避難の必要はありません。(状況に応じて)

避難する

避難場所への移動は、火災の発生を想定して避難してください。

青葉区 ガイドマップ 防災マップ

ホームページアドレス: <http://www.city.yokohama.lg.jp/sai>

区役所や自治会館に置いてあります

(3) 青葉区の被害想定

地震名	死者	負傷者数(重症者含む)	避難者数	焼失棟数
南関東地震	21	250	4,800	0
横浜市直下型地震	33	380	7,300	1
東海地震	0	1	31	0

美しが丘中部自治会
いつ避難場所地図
平成23年9月制作

1-4は目の番号です。
● 防災拠点「美しが丘小学校」は1階から10階まで、「美しが丘中学校」は11階から43階までとなっています。
※ いつ避難場所の変更は、自治会事務局へご確認ください。

第5号は、地域防災拠点について勉強しました。

地域防災拠点の設備や備品について概要を案内した。皆さんも美中や美小での訓練の案内があったら是非参加して欲しい。百聞は一見に如かずじゃ。それに家族間の安否確認の方法についても紹介した。この地域の皆さんはもう安否確認で戸惑うことはなくなったはずじゃ(^o^)

第6号は、初期消火と消火器、初期消火箱と消火栓について教えてもらいました。

皆さんの家にある消火器の扱いはもう大丈夫なはずじゃな。この地区で初期消火箱がある3か所も、もうご存知じゃな。また家の近くの消火栓も確認してもらえたかな。広域災害時は消防車も出払っている。皆さんが消火器と初期消火箱を扱えるようになると、この地区から大きな火災を出さないで済むはずじゃ。

第7号は、非常持出袋でしたね。

第7号の裏面でいつ避難訓練のアンケートが紹介されておった。この中では「隣近所との顔合わせ」が一番の成果という声が多かったようじゃの。

第8号は、備蓄についてでしたね。

まさしく「備えあれば憂いなし」。また中部の防災訓練の様子が紹介されていたが、何度も言うがこのような機会には是非みんなで参加したいものじゃ。

1年間お届けした防災ニュースは、中部自治会のホームページにあります。ホームページには自治会のニュースや情報がありますので、是非ご覧ください。

震災時避難場所 (地域防災拠点)

- 食料、水、飲料水などの配布場所
- 生活情報の提供場所
- 家が倒壊した方の一時的な生活場所
- 家族の安否確認

家族の安否確認

大災害発生時には、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービスが利用できます。

災害用伝言ダイヤル「1717」

被災地域とその他の地域間で安否確認を音声により伝達する「ボイスメール(声の伝言板)」です。

1717ダイヤル

● 被災地域や被災者数等の緊急情報について1717で確認し、テレビ、ラジオ等で告知されます。

● 「1717」をダイヤルし、利用ガイダンスに沿って伝言の録音・再生を行ってください。

● 録音された内容は、被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。

災害用伝言板サービス

携帯電話やPHSからも、安否情報の登録や確認をすることができます。それぞれの携帯電話・PHSの「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択して下さい。他社携帯・PHSおよびパソコンなどからも、家族や友人の安否確認を確認いただけます。

NTT FOCUS

by 1717
ソフトバンクモバイル
イー・モバイル
ワイコム

ホース格納箱

美しが丘中部自治会

美しが丘中部自治会 防火地図 平成23年11月制作

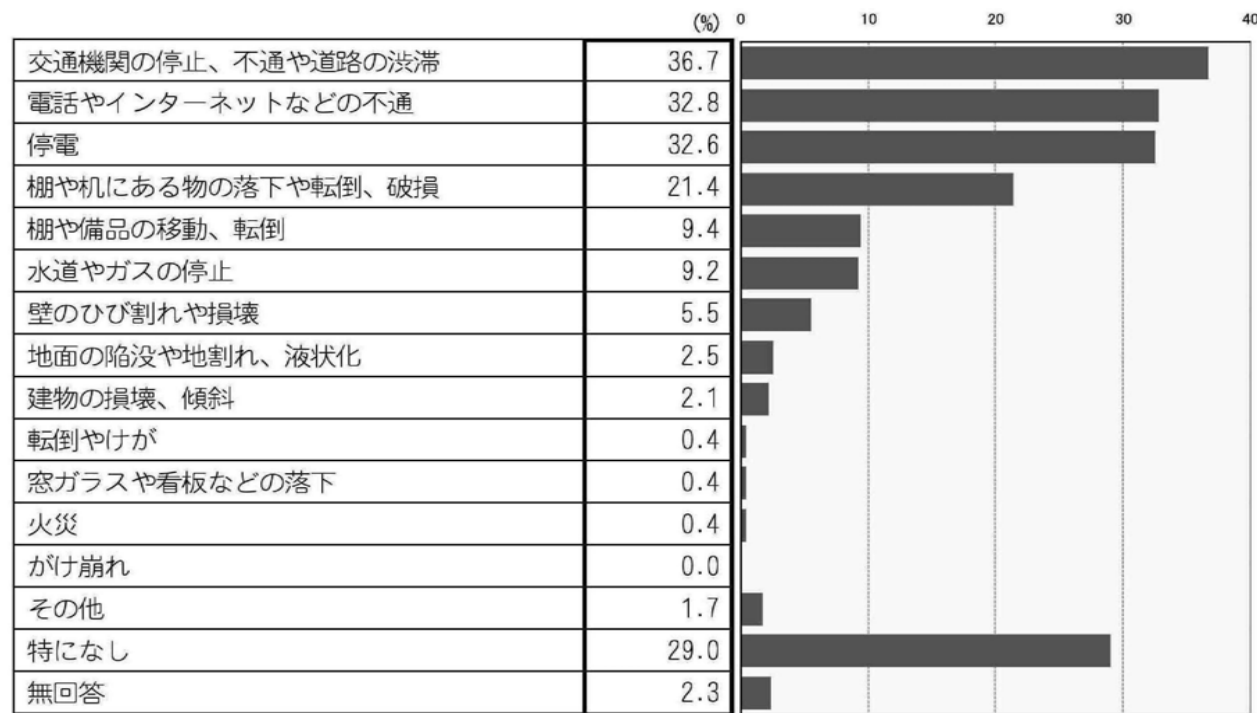
1-4は目の番号です。
● は消火器(マンホール)
■ は初期消火箱





さて、今回の震災に関して多くのアンケート結果が出ているので、参考としていくつか紹介しておこう。最初は横浜市がおこなった市民意識調査で、18区で約2200人の回答があったそうだ。横浜市では幸い最大震度5で済み大きな被害も無かったようじゃ。市民が被害と受けとめたのは、やはり交通・通信・電気といった生活インフラ面のものが多かったようじゃな。

あなたの自宅やその近隣で何か被害がありましたか。(〇はいくつでも)

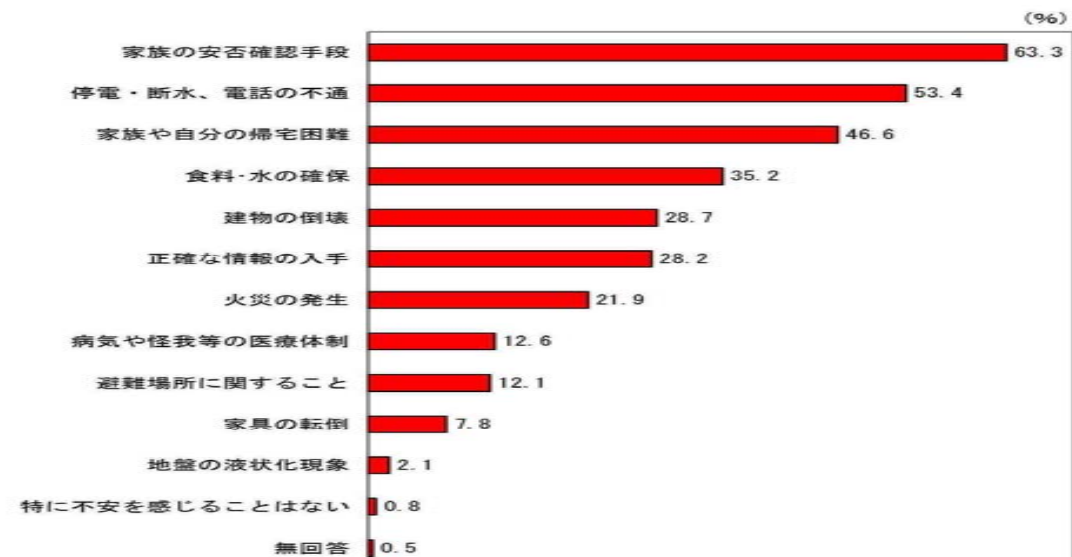


次は青葉区がおこなった意識調査の結果で、青葉区民1600人が回答したそうじゃ。これでも不安なのは、通信や生活インフラそして帰宅困難。次に減災備蓄、建物の耐震対策などじゃな。

問4 首都圏で平日の昼間に大地震が起きた場合、あなたが特に不安に思うことは何ですか。(〇は3つまで)

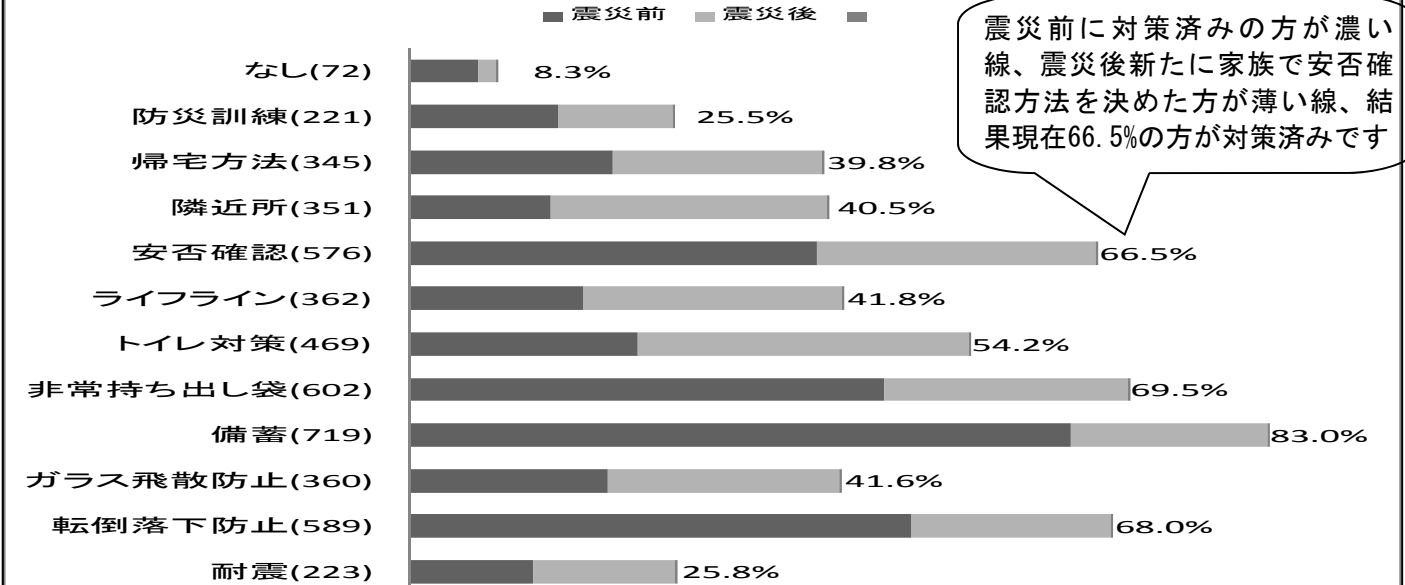
「家族の安否確認手段」が最も多い。次いで「停電・断水、電話の不通」、「家族や自分の帰宅困難」、「食料・水の確保」の順に上位を占めている。

問4 平日の昼間の大地震が起きたときに不安に思うこと



次は青葉区の区民会議という団体がおこなった1000人のアンケート結果。みなさんの中にも回答者が居ると聞いた。これは「自助」で、震災前どんな対策をしていたか、また震災後新たにどんな対策をするつもりかという結果じゃ。備蓄、非常持ち出し袋、転倒落下防止、安否確認が多い。

日ごろの対策と今後の取り組み



下のアンケートは震災2週間後のインターネットアンケートで、回答者は秋田・山形の方、及び関東地方(茨城を除く)の方。生活での困りごとは、水・食料・ガソリン・電池・紙など「生活必需品の不足」と、電気・水道・ガス・輸送・交通・商店などの「ライフインフラのストップ」に尽きるようじゃ。

東北地方(秋田・山形)で困っている事 上位10件

関東地方(茨城除く)で困っている事 上位10件

順位	困りごと	割合
1	ガソリン・灯油が入りにくい、入手できない	85.2%
2	水・食料が入りにくい	50.3%
3	配送の遅延・休止など	48.3%
4	懐中電灯・ラジオ・電池が入りにくい、入手できない	43.0%
5	地震(余震)による不安・ストレス	34.2%
6	トイレトペーパー・おむつなどの日用品が入りにくい	30.9%
7	行きたいお店が開まっている(営業時間短縮など)	26.8%
8	水道・ガス・電気を使う事ができない(供給ストップ)	22.1%
9	暖房が使えないなど、電気を思うように使えない	16.1%
10	自社の休業・取引先の休業など	13.4%

順位	困りごと	割合
1	水・食料が入りにくい	42.4%
2	ガソリン・灯油が入りにくい、入手できない	36.7%
3	地震(余震)による不安・ストレス	35.7%
4	計画停電による停電	35.1%
5	懐中電灯・ラジオ・電池が入りにくい、入手できない	34.2%
6	放射線による不安・ストレス	27.4%
7	トイレトペーパー・おむつなどの日用品が入りにくい	26.7%
8	電車やバスの運休など、通勤・通学に支障をきたしている	24.4%
9	行きたいお店が開まっている(営業時間短縮など)	23.5%
10	配送の遅延・休止など	11.9%



最後の機会に私見ではあるが改めてこの地域の対策について述べてみたい。当地域は、津波・建物の広範囲な倒壊・原子力災害・山崩れ・河川氾濫・液状化などの災害が起こる要因が極めて小さい地域である。唯一心配なのが建物の倒壊と広範囲の火災が起きる可能性であろう。従って対策は、電気・水道・ガス・交通網などライフラインの長期ストップや流通網のストップに対応する自助・共助に関する対策が中心となるじゃろう。そうした予測のもとたてた減災心構え6力条を下に書いたみた。

1. 大震度に耐える家にしよう。家の倒壊は命にかかります！
2. 頭より上に物を置かないようしよう。家財で怪我をしないように！
3. 必ず隣家・近所に声かけをして、お互いの安否を確認しよう。
4. 家族との連絡方法は、常に確認しておこう。
5. 最低2週間、電気・ガス・水道・商店が無い生活ができるように！
6. 困っている人を助けよう。(知人・親戚を受け入れられるように)



私は左の6項目のうち2項目しか出来ませんが、これからもいつか避難訓練などに参加しながら、徐々に進めていきます。鉄じいさん、1年間ありがとうございました。